



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
コード番号 7088 URL https://www.forumeng.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 広報・IR部 (氏名) 蓬田 宏樹 TEL 03 (3560) 5505
ゼネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,304	—	1,276	—	1,275	—	856	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 867百万円（－％） 2023年3月期第2四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.14	32.84
2023年3月期第2四半期	—	—

（注）当社は、2024年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率並びに、2023年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,791	11,732	65.1
2023年3月期	—	—	—

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 11,584百万円 2023年3月期 一百万円

（注）当社は、2024年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	32.50	32.50

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は2023年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であり、2024年3月期（予想）の1株当たり期末配当及び年間配当合計については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期（予想）の1株当たり期末配当及び年間配当合計は65円00銭となり、前回予想60円00銭より5円00銭の増配となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,810	—	2,710	—	2,680	—	1,790	—	34.66

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

3. 2024年3月期（予想）における通期の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、69円33銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(注) 特定子会社の異動には該当しておりませんが、2022年10月10日付で設立したCognavi India Private Limitedの重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	26,709,600株	2023年3月期	26,709,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	843,306株	2023年3月期	898,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	25,834,268株	2023年3月期2Q	25,749,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

(1) 当社は、本日（2023年11月9日）開催の取締役会において、2023年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議しました。

(2) 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2024年3月期第1四半期より、連結決算に移行しており、同第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。そのため前第2四半期累計期間に四半期連結財務諸表を作成していないことから、(1)経営成績に関する説明、(2)財政状態に関する説明において前年同四半期及び前期末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行によって経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復基調を示しました。中でも、当社主要顧客である大手製造業の景況感は、原油・原材料価格の高騰による影響がみられるものの、足元で半導体不足の緩和や設備の稼働が改善し、回復基調が鮮明となっております。

このような環境の下、マーケット全体の慢性的人材不足感がさらに強まっており、当社主力のエンジニア派遣サービスへの需要はコロナ以前同様の高い水準に回復しました。前事業年度から引き続き、派遣エンジニア求人広告の掲載内容の見直しや当社社員によるエンジニア社員紹介制度(リファラル採用制度)、退職者のカムバック採用制度等の施策を講じた結果、派遣エンジニアの採用数は前年同期比193名増加しました。また、顧客企業の派遣エンジニア需要拡大により、案件数(派遣エンジニア需要数)は前年同期比1,725件増加した結果、稼働人員数は前年同期比280名増加しました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、当サービスを利用した学生の内定受諾数が増加したことにより、売上高は前年同期と比べて大きく上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,304百万円、営業利益は1,276百万円、経常利益は1,275百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は856百万円となりました。なお、単体における当第2四半期累計期間の業績は、いずれも前年同期を上回っております。

(参考) 株式会社フォーラムエンジニアリング単体の経営成績

	2024年3月期 第2四半期 (百万円)	2023年3月期 第2四半期 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高	15,304	14,112	8.4
営業利益	1,352	337	300.7
経常利益	1,351	329	309.7
四半期純利益	919	224	309.8

また、当社は、「スキルがつながる世界へ。」をミッションに掲げ、機械・電機系学生の学びやエンジニアが持つスキルと、企業が求めるスキルとのつながりを、人工知能(AI)によって結びつける、独自のマッチングシステム「コグナビ」各サービスの浸透と拡充に取り組んでおります。当社は機電系エンジニア人材市場において、この「コグナビ」のマッチングテクノロジーを駆使し、エンジニアと企業をスキルでつなぐ世界の実現を目指しております。また、新卒理工系学生の就職支援から、転職、人材派遣、教育まで、エンジニアのすべてのキャリアシーンを、「コグナビ」がサポートしてまいります。

エンジニア派遣サービス「コグナビ 派遣」は、顧客企業の需要に確実に応えるべく、稼働人員数の更なる増加に繋げるため、派遣エンジニアの採用強化に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間末時点の稼働人員数は、前年同期と比べ280名増加し、4,137名となりました。

理工系学生のための就職支援サービスである「コグナビ 新卒」は、理工系新卒学生数である約39,000名全てがメーカーに就職し、エンジニアとして働ける世界を実現するため、元メーカーエンジニアの当社社員が講師となり、大学3年生を対象にエンジニアの魅力を伝える「エンジニア職セミナー」を機電系学科のある大学で実施しております。当第2四半期連結累計期間の2024年卒会員数が前年同期比1.5倍となり、当サービスを利用して企業に採用された学生数は当第2四半期連結累計期間末時点で前年同期と比べて約2倍増加しております。

経験者採用向けエンジニア紹介サービスである「コグナビ 転職」は、「コグナビ 新卒」でメーカーに就職したエンジニアが、やがて転職する際の受け皿となり、この流動機会を捕捉し、中長期には第3の収益の柱とすることを目指してまいります。

エンジニア育成の研修を大学で実施するために両者の連携をサポートするサービス「コグナビ カレッジ」は、大学教授の保有スキルをデータベース化する事で、企業のリスク回避需要に沿った専門性の高い研修を、

提携大学にて実施しております。

また、2022年10月に設立した当社の連結子会社であるCognavi India Private Limitedは2023年6月22日、インド初のAI（人工知能）マッチング技術を駆使したジョブポータルサイト「Cognavi（コグナビ）」をオープンいたしました。「Cognavi」はまず、インドの新卒学生と企業を結ぶ就活インフラになることを目指してまいります。

なお、当社グループはエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、14,823百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が10,562百万円、売掛金が3,880百万円であります。固定資産は2,968百万円となりました。その主な内訳は、ソフトウェアが1,205百万円、繰延税金資産が847百万円であります。

この結果、総資産は17,791百万円となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、6,058百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金が2,000百万円、賞与引当金が1,750百万円であります。

この結果、負債合計は6,059百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、11,732百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が12,106百万円であります。

この結果、自己資本比率は65.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「賃金」という。）は、10,562百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は1,296百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益1,275百万円が計上されたことによるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は91百万円となりました。

これは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出85百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は1,108百万円となりました。

これは、主に配当金の支払額1,291百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、本資料の公表時点において、2023年8月9日付けで公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。なお、期末配当予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を考慮し、修正いたしました。詳細につきましては、2023年11月9日に公表いたしました「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更、新株予約権の行使価額の調整、期末配当予想の修正（増配）及び配当方針の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応をしており、企業価値（株価・時価総額）の向上を経営の重要課題と位置付けています。当社中期経営計画「cognavi Vision2026」最終年度の計画値（営業利益率11.3%、ROE20.0%）の達成と、注力事業への集中及び成長投資の実施、さらに株主還元策としての「安定配当」と「継続的な増配」を方針としています。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,562
売掛金	3,880
有価証券	200
その他	180
流動資産合計	14,823
固定資産	
有形固定資産	422
無形固定資産	1,254
投資その他の資産	
その他	1,308
貸倒引当金	△16
投資その他の資産合計	1,291
固定資産合計	2,968
資産合計	17,791
負債の部	
流動負債	
短期借入金	2,000
未払金	734
未払法人税等	470
賞与引当金	1,750
役員賞与引当金	7
その他	1,095
流動負債合計	6,058
固定負債	
その他	0
固定負債合計	0
負債合計	6,059
純資産の部	
株主資本	
資本金	117
資本剰余金	140
利益剰余金	12,106
自己株式	△800
株主資本合計	11,564
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	20
その他の包括利益累計額合計	20
非支配株主持分	148
純資産合計	11,732
負債純資産合計	17,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	15,304
売上原価	10,845
売上総利益	4,458
販売費及び一般管理費	3,181
営業利益	1,276
営業外収益	
受取手数料	1
未払配当金除斥益	2
その他	0
営業外収益合計	4
営業外費用	
支払利息	2
シンジケートローン手数料	2
その他	0
営業外費用合計	5
経常利益	1,275
税金等調整前四半期純利益	1,275
法人税等	432
四半期純利益	842
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	856

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	842
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	24
その他の包括利益合計	24
四半期包括利益	867
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	876
非支配株主に係る四半期包括利益	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,275
減価償却費	199
賞与引当金の増減額(△は減少)	171
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16
支払利息	2
シンジケートローン手数料	2
売上債権の増減額(△は増加)	△156
未払金の増減額(△は減少)	△67
未払費用の増減額(△は減少)	△11
預り金の増減額(△は減少)	24
その他	△39
小計	1,424
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△125
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△85
差入保証金の差入による支出	△8
差入保証金の回収による収入	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	
非支配株主からの払込みによる収入	167
自己株式の処分による収入	15
配当金の支払額	△1,291
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128
現金及び現金同等物の期首残高	10,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,562

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。